

指笛楽友会通信（第44号）

平成23年2月22日

もう暦の上では立春が過ぎてしまいました。梅の開花が始まり、寒い中にも春の兆しを感じるこの頃です。皆様お変わりございませんか。指笛楽友会通信をお届けします。

まず指笛楽友会齋藤会長からのご挨拶です。

1. 齋藤会長年頭挨拶

「指笛楽友会新年度の展開にあたって」 指笛楽友会会長 齋藤 秀元

数日前、都立石神井公園の野外ステージを訪れてみました。この日は寒く池の一部が凍っていて、水鳥たちも心なしか元気がないように見えました。地球温暖化が言われていますがやはり冬は寒いと思いました。歳のせいかわこの時私の手指は冷たく身体も縮まり元気が出ず、ステージに立ってはみましたが寒気の中で指笛を吹く力が湧いてきませんでした。

会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。今日の天気は久方ぶりに全国的に気温も高くなり、暦の上では明日は立春とのこと、地域差はありますが、梅も開花を見せ始め活動しやすい春がつい間近まで来ているようで嬉しくなります。

さて楽友会のこれからの展開ですが、田村大三先生が昨年4月に亡くなられ、会の推進機能を担う「25の会」の開催が難しくなりました。今まではごく当たり前として先生宅を役員会、練習会、食事会に使わせていただいていたのですが、今はこの3拍子を揃えることが難しい上に、核となっていた静海先生が遠方に移られましたので4拍子が揃いにくい状況となりました。

現状では25の会の会場は公共施設を抽選によって確保しなければなりません。今までは田村先生に頼りきっていたわけです。こうした事情もあって会員や友の会の皆様にご心配をおかけしています。本会の今年度の事業計画は1月の総会で承認されたとおりです。不自由な中での展開となりますが、より一層のご協力をよろしくお願いいたします。何はともあれ一人ひとりの練習が大切なことを実感しています。各自の情熱と創意工夫によって練習の機会を増やすようご努力ください。

また、25の会の会場について適当な情報がありましたら事務局までご連絡いただければ幸いです。（2月3日記）

2. 静海先生の近況

昨年10月12日、静海先生は新しい住居へと移転されました。新しい住まいでの環境はどのようなものでしょうか。あるいは日常どんな生活を営んでおられるのでしょうか。先日静海先生に寄稿していただきましたのでご紹介します。

「榛名に来て」 田村 静海

新生会マリヤ館に入居して4ヵ月経ちました。今ようやく一息ついて落ち着きを感じながらも、思うことで心はいっぱいになっています。整理のつかないままペンを取りました。

引越しの日、一言に言えない心境でしたが、指笛楽友会の12名の方々のお力添えに励

まされながら引越しの大変さと、学園町の家との別れの痛烈な思いで冷静さを欠きながら働きました。だがこの気持の裏には一つの大きな期待が力となっていた事ありがたい思いでした。これからの新しい生活への希みがかけられていたことが、堪える力となって群馬県榛名に向かって行きました。

マリア館Ⅱ—2 Eの部屋に荷を下し、片づけに13人（一人は長くコンサルタントとしての用に務めている）がこの部屋の部所部所に一斉に力を出して、一日で何とか片づけはおさまりました。私一人のためにこんなにまでと涙のあふれる引越しの一日でした。次の日武井洋子さんは宿泊して一人で、二日目、一斉の片づけを果たしてくださり、忘れられない感謝の思いでいます。

又その後、暮の12月と2月初めに河津様御夫妻が二度も、丸一日かけて部屋のさまざまをきれいに住み良く労をとって下さり、喜びと感謝にあふれています。この一日目から此の部屋が私の大切なそして尊くもある部屋となって満足感に湧いた毎日を送っています。

田村大三の死と言うのは新しく生かされ命となって続いている事を私は知っています。今でもそれは動かされない事実となっています。4月24日田村大三が神の御手に渡されたその時、寝室が、一瞬下界が消え言葉にはならない清らかな崇高さが寝室を被いました。この状況は今も私の心に鮮明に残されています。遺影に向き合う毎日、その時の涙と変わっていません。かなしい涙とは違い感動からの涙で最高の喜びがあります。又此処は、今の境遇には最もふさわしく清らかな空気で山々に囲まれ、朝の山、夕ぐれの色を変えた美しさ、山から湧き出る水は豊富で、知らないままに神が崇められます。

正に「神からの祝福の源が約束されている田村大三」「何の故か」綱谷一才の漢詩がそれを言って下さいました。又、白鳥省吾の詩が私達の心をうなずかせています。

この事は、西暦二千年以前に神が75の数字の中で祝福の源を置かれた事に倣われて、この大きな御業を田村大三の七十五周年の指笛音楽の歴史に、又未来に、いよいよ神は祝福の源を約束されたのでした。神の約束は永遠のものと信仰を強められています。

限りなく尊い約束を受ける事の故に、田村大三の死があったと思う外なく、この感動を榛名の山の生活に鏡となって写し出したく願っています。

3. 2011年度総会のご報告

去る1月10日に開催された2011年度楽友会総会で審議されました事業計画の主なものをご紹介します。

23年度の主な事業予定

- ① 指笛音楽77周年記念コンサート（練馬区立文化センター小ホール）：9月10日（土）
- ② 楽友会通信発行
2月（竹中）、5月（武井）、8月（松谷）、12月（有吉）
- ③ 地域演奏会、ボランティア活動など
・第37回善意の輪を広げようチャリティショー（東京善意銀行友の会）：7月4日（日）

- ・みんなのおんがくかい（練馬区内7団体）：3月23日（水）
- ・練馬まつり出演（未定）

4. 田村大三先生一年祭のご案内

田村先生が昨年春にご逝去されて、この4月24日には早くも1年を迎えます。このたび静海先生と泉先生から、一年祭を下記の予定で行いますとのご連絡をいただきました。皆さんと一緒に明るく、楽しい雰囲気で大三先生を偲んでみたいとお気持ちでした。ご都合がございましたら、あまりお気を遣わずにお気軽にご出席くださいとのことです。

日 時：4月17日（日）12：00～15：00

会 場：三笠会館 バンケットルーム5F

所在地：中央区銀座5-5-17

電 話：03-3571-8181

交 通：東京メトロ（地下鉄）銀座線、丸の内線「銀座駅」下車

※出席される方は、準備の都合がありますので3月末日までに事務局までご連絡ください。

5. 事務局からの重要なお知らせ

(ア) 25の会の開催日や場所が大きく変わります。

大三先生宅での練習ができなくなりましたので、これまでのように練習日や練習場所を固定して確保することが困難となりました。このため、当面齋藤会長から、練馬区勤労福祉会館を確保してもらう予定です。会場確保ができましても楽友会通信の発行も限られていますので、タイムリーにお知らせできません。今後は原則的には、下記役員に事前に問い合わせ、確認をしていただくようお願いします。

(イ) 当面の練習日（役員会含む）

2月27日（日）練馬区勤労福祉会館職業講義室（音楽室の隣の部屋）（マウスミュージックとして表示）

13時から14時30分 役員会

14時30分から17時 練習（CD等持参ください。）

3月20日（日）練馬区勤労福祉会館音楽室（マウスミュージックとして表示）

13時から14時30分 役員会

14時30分から17時 練習（CD等持参ください。）

4月以降は未定です。各月の2ヵ月程前には、会場確保の状況が分かると思いますので、上記役員にご連絡の上確認してください。

(ウ) 発表会への出演申し込み

9月10日の発表会への出演申し込みにつきましては、同封した葉書に必要事項を書いていただき、**4月23日まで**にご返送ください。

最後にお願いです。

指笛楽友会通信（2月、5月、8月、12月の年4回発行）に今後の予定や重要なお知らせを載せることもありますので、「事務局からのお知らせ」に特に目を通してくださるようお願いいたします。

それでは2011年も皆様が健やかに過ごされることを祈念しております。次回は5月号です。

（編集責任 竹中速雄）